



枕崎市では学校応援団などのボランティアの方々が、コロナに負けずに子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。今月も市内で行われた活動をご紹介します。

### ～オシエルズによる「夢の授業」が行われました～ 市内4中学校

の授業が「人を傷つけない笑いとは何か？」と題して、9月21日と22日に市内4つの中学校で行われました。

オシエルズは矢島ノブ雄さんと野村真之介さんのコンビで、野村さんは枕崎市出身、枕崎中学校の卒業生でもあります。お二人とも教員免許を持ち、大学や短大で講師をしながら「日本一学校を回る漫才コンビ」として活躍中です。

9月21日には枕崎中学校で夢の授業があり、最初に漫才のネタを披露し、生徒や先生を交えて漫才をしたりして、共に笑いを作り出す講演をしてくださいました。また、2人が小中学校時代に受けた「いじめ」や「いじり」を、好きだったお笑いで克服した経験を紹介し、笑いには3つの種類がある、①人を傷つける笑い ②人を楽しませる笑い ③人を救う笑い、であることの話がありました。

特に、相手への配慮に欠けた言動や行動などの「人を傷つける笑い」を取ろうとしてはいけないこと、笑いの中でも、人を楽しませる笑い、人を救う笑いを考えることが大事であると教えてもらいました。



枕崎中学校での講演 右が野村さん

枕崎市教育委員会が実施している「『輝け！夢・命』推進事業」の第4弾、オシエルズの夢

枕崎小学校では毎年の運動会で「枕崎音頭」を全校児童で踊るのが恒例ですが、コロナ禍で密を避けるために、運動会では4年生の2クラスが代表して踊ることになりました。

ほかの学年からも注目されるので、みんなが知っている枕崎音頭を美しく踊りたいということで、今年も福元美智子さんと松野下弘子さんに指導していただきました。お二人は今年で3年目の指導になります。



お二人の指導を受けて体育館で踊りの練習

### ～運動会で披露の「枕崎音頭」を指導～ 枕崎小学校

9月6日と13日に、2回の練習を行いました。お二人からは「背筋を伸ばす」「指先を見て顔を上げて踊る」「楽しく踊れば見ている人も楽しく感じられる」などの指導があり、2回目の練習が終わる頃には、足先、指先を揃えて美しく踊ることができるようになりました。

9月25日の運動会では4年生全員で綺麗に揃った踊りを披露して、みんなの拍手喝采を浴びていました。

### ～給食センター・市立図書館などの「まち探検」～ 別府小学校

別府小学校2年生の「まち探検」が9月30日にあり、給食センターと市立図書館の探検を行いました。

「まち探検」は2年生の生活科の授業で、5月には「どきどきわくわく まち探検」として、別府郵便局、JA別府出張所・Aコープ別府店、べっぴん山こども園の探検を行いました。



給食センターで調理の様子を見学

今回は「もっとなかよし まち探検」ということで、別府から足を伸ばして、給食センターと市立図書館の見学とインタビューなどを行いました。

給食センターでは坂元栄養教諭の説明と案内で、給食を調理している様子などを見学し、「子供たちに安心・安全な給食を届けるために、衛生面に特に注意して調理をしていること。また、大釜では500人分のおかずを一度に調理できる。」との説明を聞くと、子供たちは目を丸くして驚いていました。

### ～ボランティアによる読み聞かせが行われました～ 立神小学校

立神小学校では9月15日に、読み聞かせボランティアグループ「たんぼぼのわたげ」の方々による、絵本の読み聞かせがありました。

枕崎市には読み聞かせボランティアグループが7つあり、それぞれのグループが市内8つの小中学校で、月に1回程度読み聞かせ活動を行っています。

この日は6名の「たんぼぼのわたげ」の方々、立神小の全学年の児童に、朝の8時から15分ほど読み聞かせを行いました。次の日に行われる「絵本作家 鈴木のりたけさんのお話し会」を前に「ぼくのがっこう」など、鈴木さんの絵本が中心の読み聞かせでした。

子供たちは月に1回の読み聞かせを楽しみに待っていてくれて、熱心に聞き入っていました。



5年生のクラスでの読み聞かせ

### ～防災教室で「台風と枕崎のかかわり」などを学習～ 桜山小学校

桜山小学校では、10月3日に5年生の理科の授業で防災教室があり、市の総務課危機管理対策担当参事の平田さんが「台風と枕崎のかかわり」などについて話をしてくれました。



台風と枕崎のかかわりについて話す平田さん

枕崎市は昔から「台風銀座」と言われるほど台風が多く襲来し、高潮や大雨による浸水・土砂災害などの被害を受けていること。災害から市民を守るために、早くから「災害に強いまちづくり」に取り組んでおり、高潮対策では堤防のかさ上げなど、浸水や土砂災害対策では、河川改修、堰堤（えんてい）・流路工事などを行っていることの説明がありました。

子供たちは難しい専門用語に戸惑いながらも、メモを取りながら熱心に話を聞いていました。